

成果指標					
成果指標					0
指標設定の考え方					0
区分年度	24年度	25年度	26年度		
目 標	0	0	0	0	
実 績	0	0	0	0	

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>市政の現状を的確に捉え、監査の参考となる資料の収集に努め、効率的、効果的な監査に心掛け、監査内容の充実を図ることができた。特に、工事監査については、今後の事業展開において生かせる個々の技術力の向上を図ることができた。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	<p>今年度より民間企業で監査経験のある委員を迎え、新たな視点による監査を実施することにより、各団体や担当者の事業への取り組みに対する意識改革へと繋がった。また、工事監査においては一部外部委託により建築工事を対象としたことにより、担当職員の監督員としての視点や指摘すべき項目の再確認を実践することができ、事務改善の向上に貢献できたものと思う。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題